

# **愛・地球博記念公園**

**暫定基本計画**

**平成18年2月**

**愛知県建設部公園緑地課**

# 目 次

## I 計画の前提

1. 1	計画の目的	1
1. 2	公園の規模・位置	2
1. 3	公園の位置付け	3
1. 4	基本方針とその経緯	4
1. 5	閉園前の公園と博覧会時の状況	5
1. 6	博覧会前整備区域の概要	8
1. 7	懇話会の概要	11
1. 8	県民意見聴取（アンケート調査）	13
1. 9	パブリックコメント	15

## II 整備・活用の方針

2. 1	計画の基本的事項	18
2. 2	整備・活用の方針	20
2. 3	個別メニューの内容	22

## III ゾーニング

3. 1	ゾーニング	32
------	-------	----

## IV 県民と行政のパートナーシップによる公園整備と管理運営

4. 1	様々な段階での県民参加の推進	35
4. 2	公園マネジメント会議の設置	35
4. 3	ボランティア活動の推進	36
4. 4	県民が主体となる管理運営への段階的な発展	36

## V 整備内容

5. 1	各ゾーンのソフト展開	37
5. 2	施設計画	42
5. 3	主なひろばの整備イメージ	43
5. 4	開園の順番	46
5. 5	公園マネジメント会議の体制づくり	47
5. 6	「サステイナブル・パーク」の実現に向けて	49

## VI 全体計画

6. 1	将来年間利用者数の想定	50
6. 2	駐車場台数の設定	51
6. 3	動線計画	52
6. 4	ユニバーサルデザイン	54
6. 5	防災計画	55
6. 6	自然環境保全計画	56
6. 7	景観計画	58
6. 8	植栽計画	59

【資料】「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」委員名簿 ······ 60  
「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」協議の経過 ······ 61

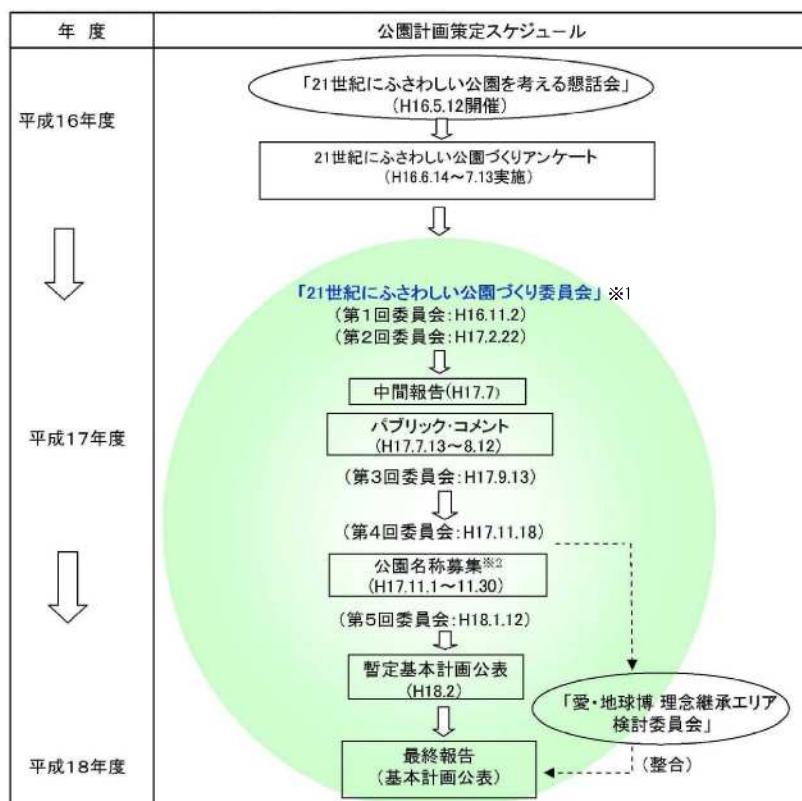
## I 計画の前提

### 1. 1 計画の目的

愛知青少年公園は、昭和45年の開園以来、青少年の健全育成はもとより、気軽に利用できるレクリエーションの場として幅広く県民に親しまれた。近年になって公園を取り巻く社会情勢は大きく変化し、少子化に対応する青少年健全育成環境づくりが重視されるとともに、ライフスタイルの多様化や高齢社会への対応、公園周辺の都市化とともに防災機能の強化など、都市施設としての機能の充実が求められるようになった。そうした中、「自然の叡智」をテーマに「愛・地球博」が本公園で開催されることになり、これを契機として21世紀にふさわしい公園として整備を行うこととし、平成14年9月に都市計画決定を行った。

新公園の計画づくりについては、平成16年11月に「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」<sup>※1</sup>を設置し、都市計画決定時に策定した4つの基本方針に基づき検討を進めた。本報告書は、委員会でのこれまでの検討内容について新公園の暫定基本計画としてとりまとめたものである。なお、本計画の中で、「博覧会の理念と成果を継承する場」と位置づけた一部エリアについては、平成17年11月「愛・地球博 理念継承エリア検討委員会」を設置し、より発展的に検討を進めることとした。また、本計画は、この一部エリアにおける検討内容と整合を図り、最終の基本計画としてとりまとめを行うものとする。

公園計画策定スケジュールは以下のとおりである。



※1 委員については、p. 61 参照

※2 公園名称は、正式名称：「愛・地球博記念公園」、愛称：「モリコロパーク」 として決定。

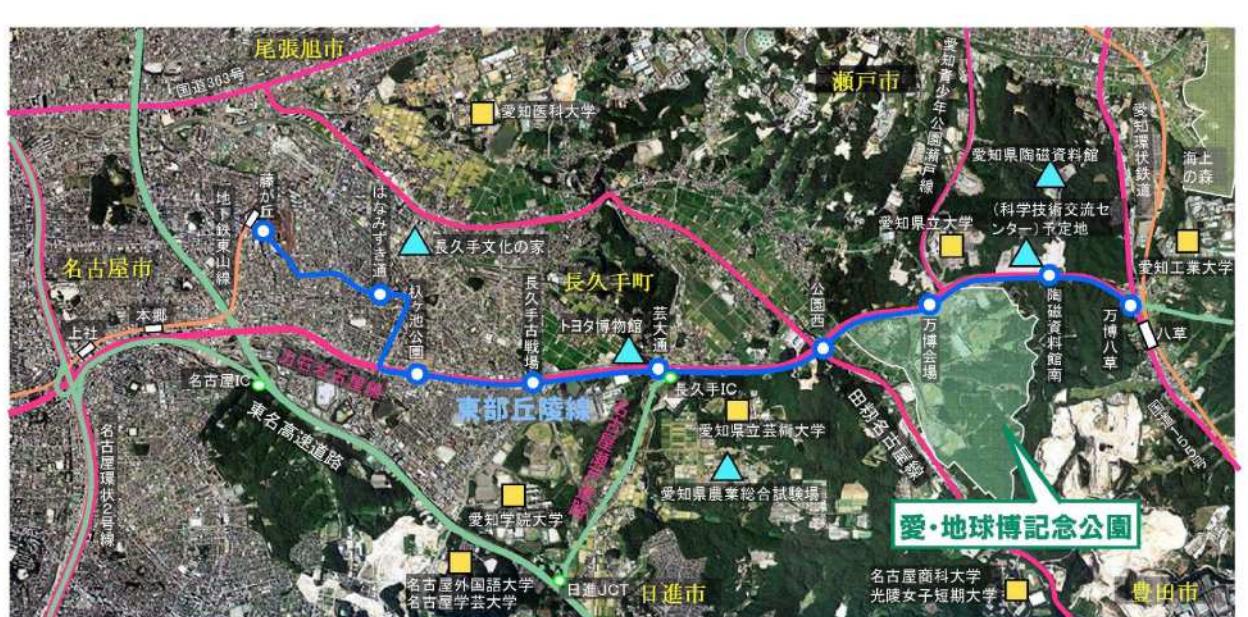
本報告書においては、新公園にかかる項目については「愛・地球博記念公園」を使用した。

## 1. 2 公園の規模・位置

本公園は、敷地面積約190ha、長久手町南東部に位置し、敷地の東部は瀬戸市と豊田市に接している。尾張丘陵の緩やかな起伏を持った緑豊かな丘陵地であり、周辺には大学や研究機関等の集積も見られ、文化性の高い立地環境となっている。

本公園へのアクセスは充実している。公園北側に主要地方道力石名古屋線、西側に県道田畠名古屋線が通る。また、愛・地球博開催に合わせてリニアモーターカーによる東部丘陵線（リニモ）が開業し、地下鉄藤ヶ丘駅を経由して名古屋市都心部から鉄道で結ばれている。さらに、日進JCT～長久手ICが開通した名古屋瀬戸道路と東名高速道路が接続し、県外からのアクセスも容易となっている。

### ■ 愛・地球博記念公園の位置



※万博終了後、東部丘陵線駅「万博会場」は都市公園名、「万博八草」は「八草」に変更予定

記号	施設区分	記号	施設区分
—	有料道路	—	東部丘陵線
—	一般道路	■	大学
—	鉄道	▲	産業・芸術関連施設

### 1. 3 公園の位置付け

愛・地球博記念公園は、平成14年に、都市公園（広域公園）として整備することについて、都市計画に定められた。（なお、都市計画決定時の名称は愛知青少年公園である。）

#### ○都市公園とは

- ・都市公園とは都市公園法に基づいて設置される公園である。
- ・良好な都市環境の形成、防災など都市の安全性向上、レクリエーション活動の場の確保、都市景観の向上を図ることなどを目的としている。

#### ○広域公園とは

- ・都市公園の種別のひとつである。
- ・一つの市町村の区域を超える広域レクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、交通の利便の良い土地に配置する。面積は概ね50ha以上である。
- ・愛知県内の広域公園・国営公園※の位置は下図に示すとおりである。

※一つの都府県の区域を越えるレクリエーション需要に対応、あるいは国家的記念事業として国が整備する公園

#### ■ 愛知県内の広域公園・国営公園

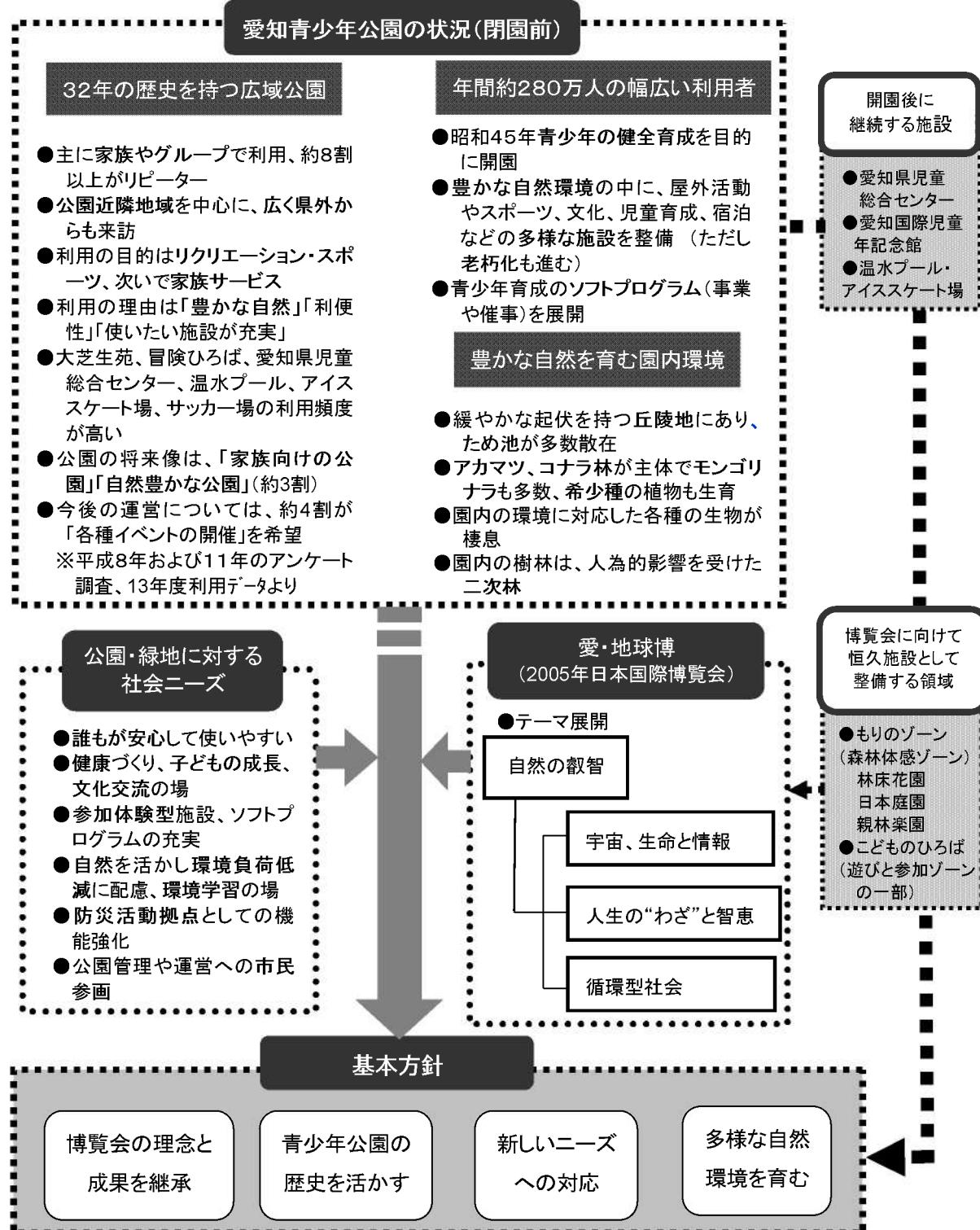


(平成18年2月1日現在)

## 1. 4 基本方針とその経緯

本公園の整備の基本方針は、平成14年の都市計画決定に際して設定された。

閉園前32年に及ぶ愛知青少年公園の歴史や利用状況、園内環境の特性や、公園・緑地に対する社会ニーズ、愛・地球博開催等の背景を踏まえ、4つの基本方針が設定された。



## 1. 5 閉園前の公園と博覧会時の状況

愛知青少年公園は、青少年の健全な育成を図ることを目的として昭和45年11月1日を開園した。緑豊かな丘陵地に囲まれた自然環境の中にスポーツ、レクリエーション、宿泊、集会等のための充実した施設を整備し、多彩なソフトプログラムを展開してきた。

約32年間にわたって多くの人々に愛されてきた本公園は、「2005年日本国際博覧会『愛・地球博』」の主会場となるため、平成14年3月31日をもって閉園した。

閉園前の公園は、恵まれた自然環境が魅力となっていた。自然地形が残る公園の東側から南側にかけては、コナラやアカマツの二次林が繁り、樹林には立地環境が乾燥地であることを示す「モンゴリナラ」が多く含まれている。また、ため池や湿地には希少性の高い動植物の生育が確認されている。公園の北側と西側は、各種施設や大広場、園路などが設置され、植生は主に芝草地と造園樹木植栽地となっている。

公園の利用者数は、昭和47年以降、年間約240万人～290万人程度を推移してきた。利用者は家族やグループを中心とするリピーターが多かった。

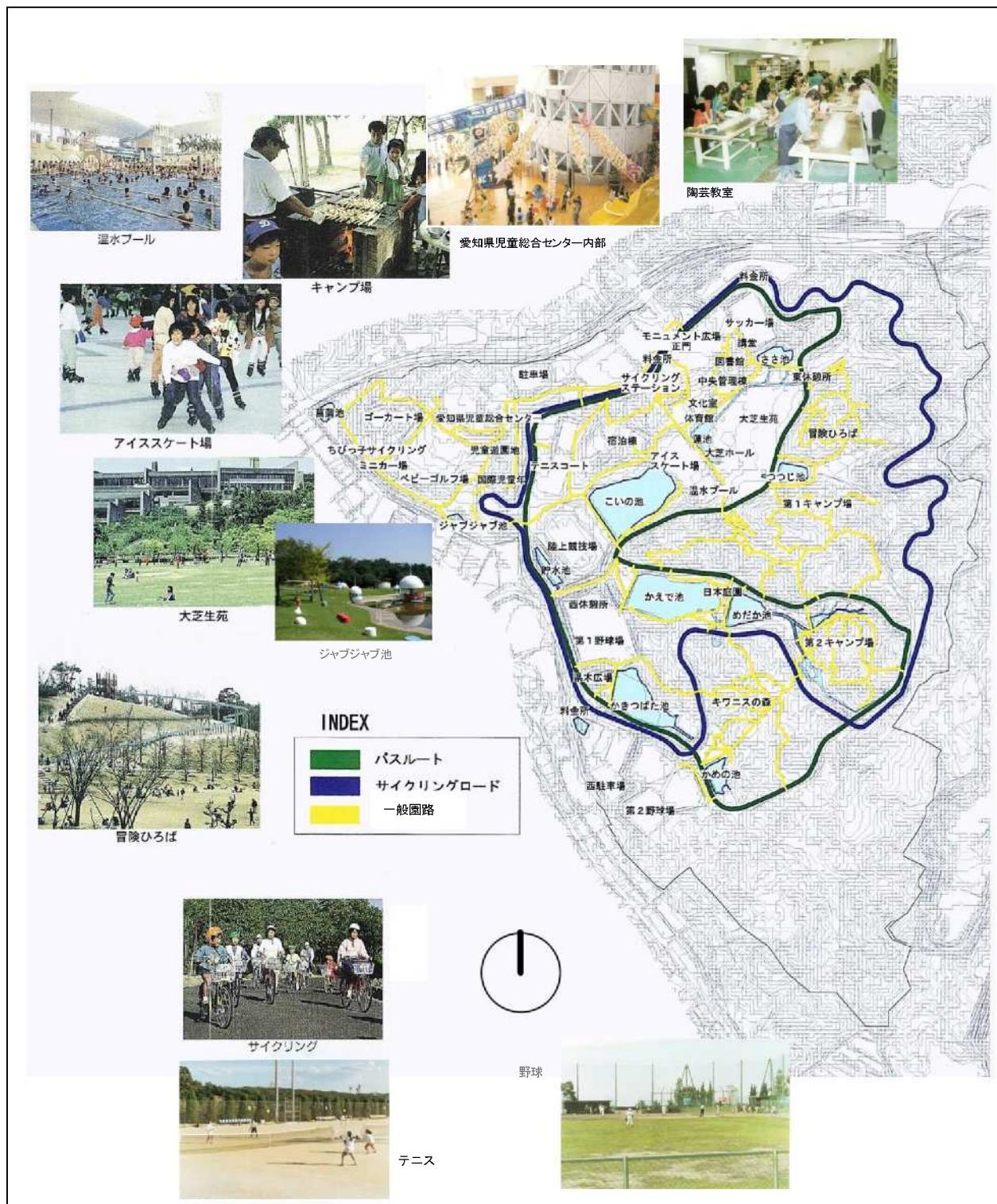
公園内の主な施設とその利用状況は次のとおりである。屋外運動施設としては野球場、サッカー場、陸上競技場、テニス場が設置されており、また、野外活動施設としてキャンプ場やサイクリングロードがあった。さらに、体育文化棟には文化室、会議室、体育館が設置されており、陶芸教室や絵画教室などに利用されてきた。平成6年には温水プール・アイススケート場がオープンした。野外の広場などでは、大芝生苑、冒険ひろば、児童遊園地がよく利用されていた。

その他の特徴ある施設としては、国際児童年の趣旨を継承して、児童の健全育成を目的に開設された「愛知国際児童年記念館」がある。子どもホールや童話館を備えており、人形劇、コンサート、映画会などが催されてきた。また、「愛知県児童総合センター」は、21世紀を担う児童の健全育成を総合的に推進していくための拠点として開設され、プレイアトリウムを中心に、造形スタジオ、クッキングスタジオ、サウンドスタジオなどで多彩なプログラムを展開し、年間約50万人の来館者を集めてきた。

平成14年3月31日の閉園後、博覧会の主会場としての工事が開始され、平成17年3月25日に2005年日本国際博覧会が開会された。博覧会施設の中には、「森林体感ゾーン」や「遊びと参加ゾーンの遊戯施設」など、博覧会終了後も本公園の施設として利用することを前提に整備した施設（詳細は次項参照）がある。

以下に、閉園前の愛知青少年公園と博覧会時の公園の状況を示す。

## ■愛知青少年公園(閉園前)



## ■ 博覧会時



## 1. 6 博覧会前整備区域の概要

平成14年の都市計画決定の際に設定した基本方針に基づき、本公園の一部については、博覧会の会場づくりと連携しつつ、博覧会後も利用する恒久施設として平成16年度末までに整備している。

博覧会前に整備を行った主な区域は、「もりのゾーン」（博覧会時の「森林体感ゾーン」）と、「子どものひろば」（博覧会時の「遊びと参加ゾーン」）の中の「自然体感遊具」である。

### ① 「もりのゾーン」

「もりのゾーン」の整備の基本的な考え方は以下に示すとおりである。

＜整備の基本的な考え方＞

- もりのゾーンに生息する多様な生物や自然環境を保全・育成
- 誰もが森に入って楽しめるようユニバーサルデザインされた園路や広場の整備
- 環境負荷低減に配慮
- 伝統と文化を学び、ふれあう日本庭園を整備

また、「もりのゾーン」は、「林床花園」「日本庭園」「親林楽園」の3つのエリアで構成されている。

### ② 「子どものひろば」

「子どものひろば」の整備の基本的な考え方は以下に示すとおりである。

＜整備の基本的な考え方＞

- 既設の愛知県児童総合センター、愛知国際児童年記念館と連携し、子どもの遊び、自然体験学習の場を整備
- 自然の力や仕組みを体感する遊戯施設を整備

先行整備される「子どものひろば」の「自然体感遊具」の区域は、「森のエリア」「水のエリア」「風のエリア」の3つに分けられている。

なお、次頁以降に、各エリアの整備概要についてとりまとめた。

## <「もりのゾーン」博覧会前整備概要>

### もりのゾーン

#### 基本的な考え方

- ① もりのゾーンに生息する多様な生物や自然環境を保全・育成
- ② 誰もが森に入りて楽しめるようユニバーサルデザインされた園路や広場の整備
- ③ 環境負荷低減に配慮
- ④ 伝統と文化を学び、ふれあう日本庭園を整備

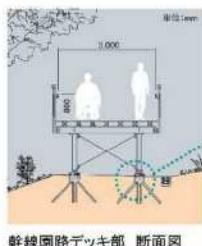
### 林床花園

樹林地の間伐を行い、林床部や林縁部に花木や草花の自生を促し、四季折々の風景が楽しめる空間を造る。園路にはユニバーサルデザインを導入し、お年寄りから小さなお子様まで多くの方が楽しめる森とする。



ユニバーサルデザインの園路

幹線園路エレベータ棟



幹線園路デッキ部 断面図



少ない「ピン杭工法」

#### 自己完結型トイレ

汚水をバクテリアで分解後、加熱して水分と残渣に分離。水分は脱臭してトイレ洗浄水などに循環利用する。(残渣は蓄積して処分)



環境観察デッキ



フィールドセンター外観

センター内部

#### ■樹林地の間伐 今まで放棄されていた樹林内環境を間伐により改善



#### ■「もりのゾーン」平面図



### 親林樂園

フィールドセンター内の環境学習や体験教室をはじめ、樹林地内の活動を通じて身近な自然にふれあい学習し、自然環境への理解を深める。

博覧会時には、「森林体感ゾーン」で展開される環境学習プログラムの活動拠点となった。

#### ■リサイクルセンター

- ・公園内の植物系廃棄物(刈草・剪定枝葉)などを堆肥化して園内に還元。
- ・環境学習プログラムの実践の場(緑の循環の仕組みを学ぶ)

### 日本庭園

周辺を小高い山に囲まれ、内には大小の池を抱える一という自然の地形を活かし、先達の巧みな庭園技法により人のわざと自然が織りなす美を表現。また、「水」をテーマとしており、岩組や渦巻きの水の流れなど、様々に変化する水の様態を鑑賞できる。



### 環境学習の場としての活用

樹林地内での野外活動やフィールドセンターにおける環境学習活動、四季折々の自然とのふれあい、環境負荷低減への取り組みを学ぶことなど、環境学習の場として活用。

#### 博覧会プログラム「森の自然学校」

～森の中で五感と想像力を使う体験プログラム～

博覧会では、もりのゾーンを活用して自然とふれあう体験プログラムを開催し、参加・体験を通じて自然と人との関係を見直すきっかけを提供した。



## <「子どものひろば」(自然体感遊具) 博覧会前整備概要>

### 基本的な考え方

- ① 既設の愛知県児童総合センター、愛知国際児童年記念館と連携し、子どもの遊び、自然体験学習の場を整備
- ② 自然の力や仕組みを体感する遊戯施設を整備

### ■愛知県児童総合センター

- ・設置目的:児童の健全育成と子育て環境づくりの推進
- ・設置主体:愛知県
- ・開設:平成8年
- ・施設:プレイアトリウム、発見・体験・創作ゾーンなど



空からの外観



遊びのプログラム活動を実践

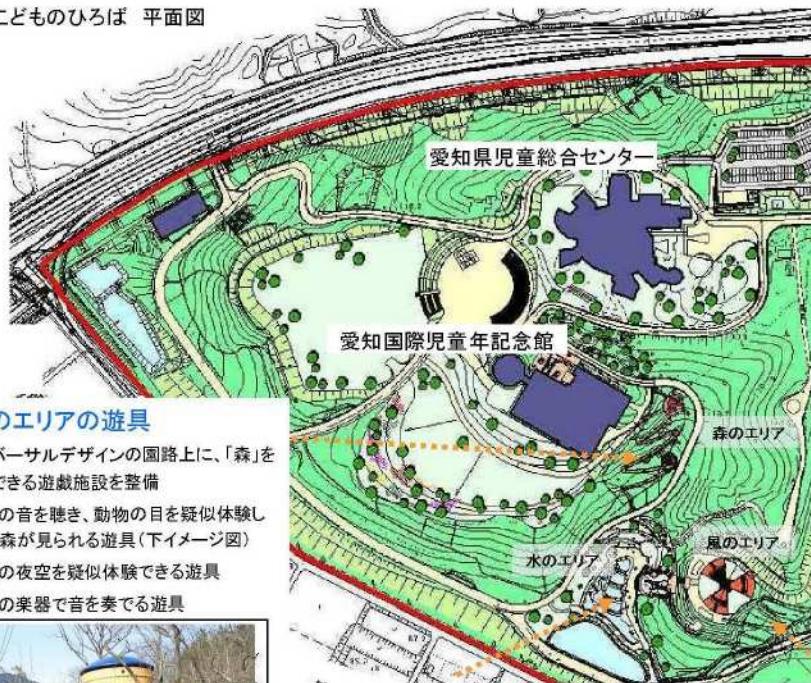
### ■愛知国際児童年記念館

- ・設置目的:児童の健全育成
- ・設置主体:国(厚生労働省)
- ・開設:昭和56年
- ・施設:子どもホール、童話館、ビデオ室など



外観

### ■子どものひろば 平面図



### ■森のエリアの遊具

- ユニバーサルデザインの園路上に、「森」を体感できる遊戯施設を整備
- ・森の音を聞き、動物の目を疑似体験して森が見られる遊具(下イメージ図)
  - ・森の夜空を疑似体験できる遊具
  - ・木の楽器で音を奏でる遊具



### ■水のエリアの遊具

- 川の仕組みを体験できる河原の再現と水の力で遊ぶ
- ・小石を自由に動かして山や川を作ったり、ジャブジャブ遊べる池
  - ・足こぎ水車、アルキメデスの水車



アルキメデスの水車

### 博覧会プログラム

#### 「グローイング・ヴィレッジ」

～「自然の中で、遊び、育つ」プログラムを開催～

博覧会では、木登りなどの遊びをとおして、子どもたちに自然の叡智・「グローイング(育み・育てる)」を体験してもらう場となった。



グローイング・ヴィレッジ イメージ

### ■風のエリアの遊具

- このエリアのランドマークとなる遊戯施設を整備
- ・風の力が学べる風車
  - ・地中と外気の温度差が体感できるチューブ



## 1. 7 懇話会の概要

本公園の計画策定に先立ち、平成16年5月12日、松井寛（まついひろし）名古屋工業大学名誉教授を座長に、また涌井雅之（わくいまさゆき）桐蔭横浜大学教授※を副座長として、「21世紀にふさわしい公園を考える懇話会」を開催した。

以下に懇話会の概要および主な意見をまとめる。

※本公園の計画策定における「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」委員長

### ■日 時

平成16年5月12日（水） 午後1時から午後4時

### ■場 所

名鉄ニューグランドホテル

### ■委 員（敬称略、五十音順）

座 長：松井 寛 （名古屋工業大学名誉教授、名城大学教授）  
副座長：涌井 雅之 （桐蔭横浜大学教授、  
（財）2005年日本国際博覧会協会 会場演出総合プロデューサー）  
委 員：阿蘇 裕矢 （静岡文化芸術大学教授）  
今井 啓之 （レクリエーション・コーディネーター）  
小川 巧記 （（財）2005年日本国際博覧会協会 市民参加プロデューサー）  
加賀 昭一 （県小中学校長会副会長）  
小出 宣昭 （中日新聞取締役編集局長）  
土屋 千尋 （愛知県立大学教授）  
土居 友二 （（社）中部経済連合会総務部長兼万博推進担当部長）  
中野 良子 （女優、WILL国際文化交流センター代表）  
萩原 喜之 （NPO中部リサイクル運動市民の会 代表理事）  
林 進 （岐阜大学名誉教授）  
松尾 宗典 （茶道松尾流家元）  
三井 政昭 （（財）愛知県体育協会事務局長）  
夢童由里子 （造形作家）  
安井 里枝 （スポーツ少年団指導者）

## ■意見概要

(記者会見でのブリーフィング内容より。出席者：松井座長、涌井副座長)

### ●市民協働を実践できる公園

今回の博覧会は、従来の「国家」「グローバル企業」というふたつのエンジンに加え、「市民参加」という3つめのエンジン（理念）が柱となっている。これは博覧会史上初めての特色であり、青少年公園の計画にも継承していくことが重要である。「市民協働」を実践できる公園であってほしい。

### ●幅広い世代交流の場

「新しいニーズ」を的確にとらえることが大切であり、ニーズを分析する必要がある。「青少年公園」の名前にとらわれないで、高齢者や社会的弱者が青少年と共に参加し、交流し、触発しあうことができる公園づくりを進めてほしい。

### ●プレイリーダー・インタークリエーターの養成、防災教育の場

公園を利用し楽しむだけでなく、例えば、環境・生命・スポーツ・レクリエーション・自然観察などのプレイリーダーやインタークリエーターの教育・訓練の場として活用できると良い。公園周辺5大学との連携も考えられる。とりわけ、新しい要素として「防災」について教育・訓練できる場として活用できると良い。

### ●環境先進県・愛知にふさわしい公園

愛知県は、特に「ものづくり」における環境産業、暮らしにおける環境分野において先進県である。こうした「環境先進県」にふさわしい公園を目指してほしい。

### ●地域資源を生かしながらリラックスし癒される公園

地域にある資源（歴史、文化、産業）を活かしながら、利用者がリラックスし、癒される公園としてほしい。

### ●パークマネージメント、公園経営に重心を置く

これまでのように単に公園をつくっておしまいではなく、これからは維持管理まで含めたトータルコストに視点をおきながら、パークマネージメント・公園経営に重心をおいた公園計画をしていくべきである。

## ■懇話会の様子

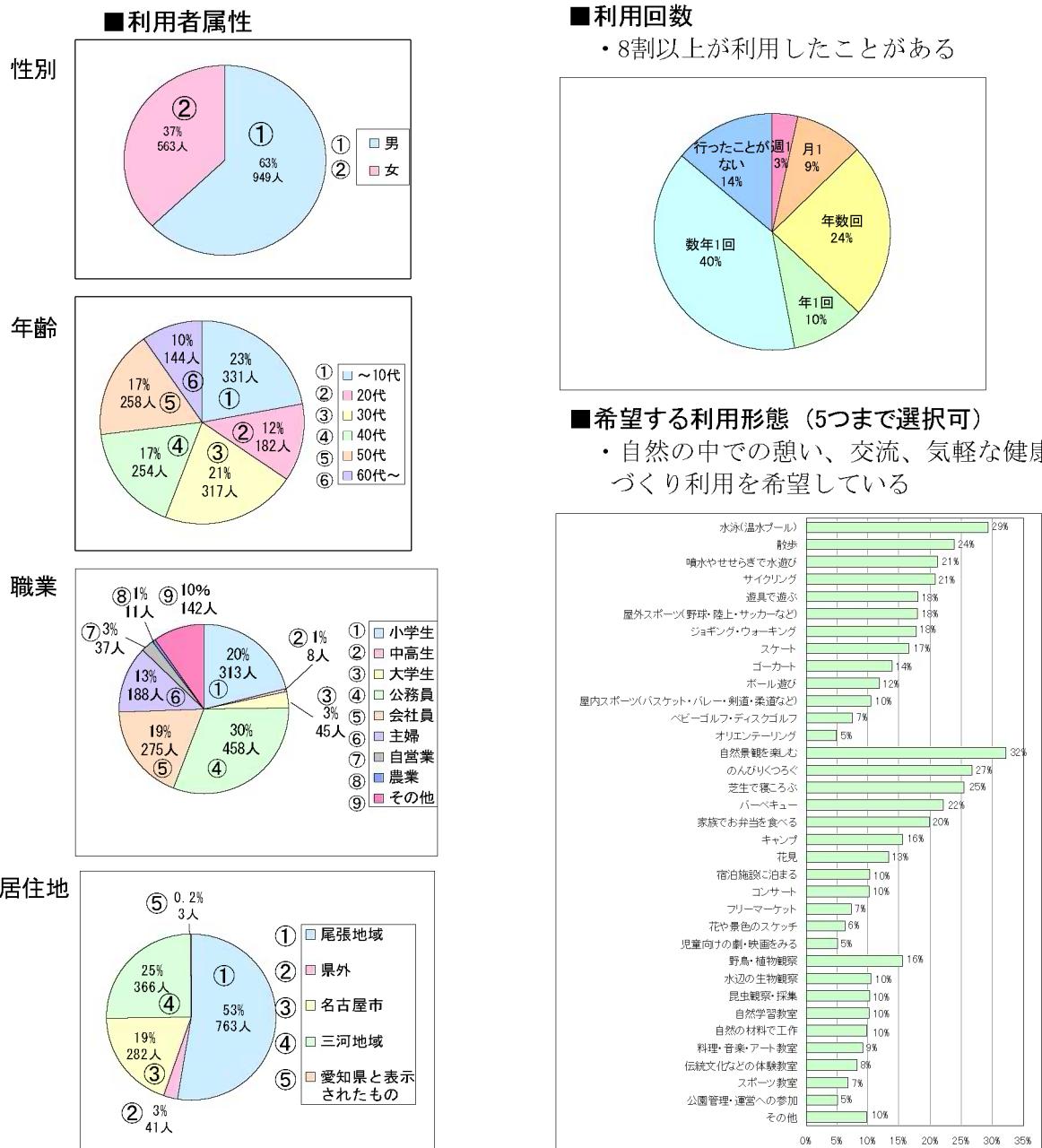


## 1. 8 県民意見聴取（アンケート調査）

懇話会に続いて、幅広い県民の意向を調べるために、県民意見聴取（アンケート調査）を実施した。

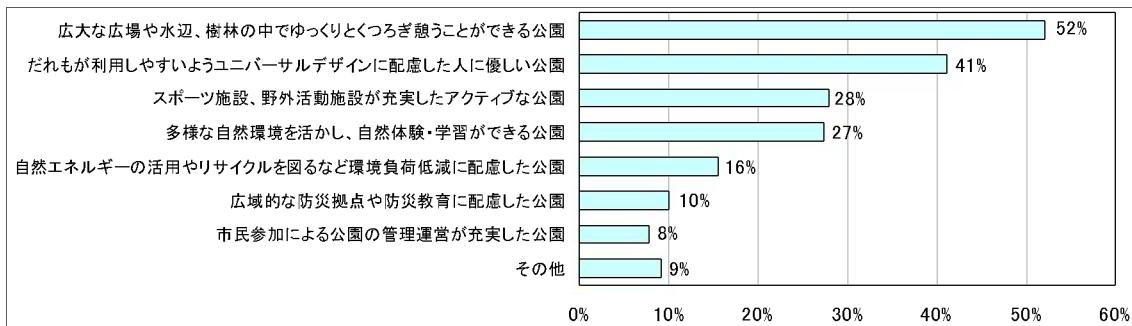
希望する利用形態についての質問では、「自然の中での憩い、交流、気軽な健康づくり」への要望が多く、将来の公園像として「くつろぎ・憩いの場、人にやさしい公園」がイメージされていた。また、管理・運営への参加については「行事・イベントへの協力」に対する参加希望者が多いという結果となった。

- 回答者数: 1532人
- 調査期間: 平成16年6月14日～7月13日
- 調査方法: 一般→郵送、愛知県HP、小学生→小学校にて直接アンケート



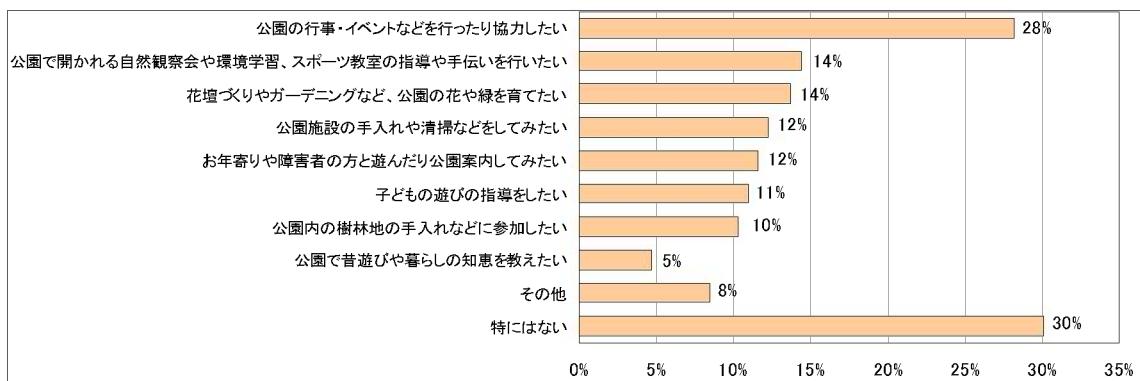
## ■将来の公園イメージ（2つまで選択可）

- ・くつろぎ・憩いの場、人にやさしい公園をイメージしている



## ■管理・運営への参加（該当するもの全て選択可）

- ・行事・イベントへの協力への参加希望が多い



## ■自由意見（回答数842件）

- ・自然を壊さないで芝生や原っぱで自由に遊べる自然豊かな公園。 (回答数223件)
- ・安全で気楽に行くことができ、老若男女を問わずのんびりくつろぎ楽しめる公園。 (回答数210件)
- ・遊具遊びやスポーツ活動が出来る公園。 (回答数94件)
- ・児童総合センターやスポーツ施設、キャンプ場、スケート場、サイクリングロードなど青少年公園にはたくさんの思い出があり、新しい公園にもこれまでの良さを残して欲しい。 (回答数80件)
- ・万博の理念を継承し、その遺産を次世代につないでいくことが21世紀にふさわしい公園であると思う。万博で利用した施設や内容をうまく公園づくりに活かしていく。 (回答数54件)
- ・公園の管理に市民が参加し、運営もNPOや学生ボランティアと共にやって欲しい。また、維持管理を含めたトータルコスト面にも留意が必要。 (回答数54件)
- ・自然や環境全般などについて楽しく学んだり、体験学習できる公園。 (回答数43件)

## 1. 9 パブリックコメント

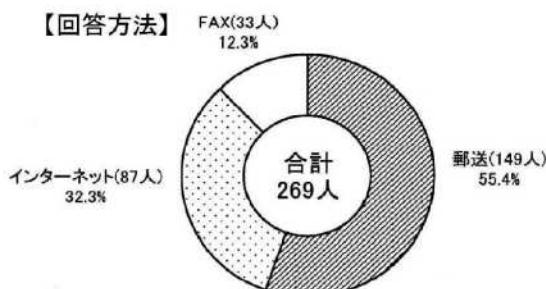
平成16年度時までの計画内容をまとめた「中間報告」に対し、パブリックコメント（県民意見提出制度）を実施し、県民の意見を募集した。

パブリックコメントの結果概要は以下のとおりである。

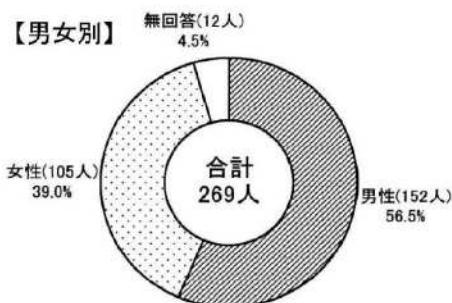
- 回答者数:269人
- 調査期間:平成17年7月13日(水)~8月12日(金)
- 回答方法:郵送、インターネット、FAX

### ①回答者の属性

【回答方法】

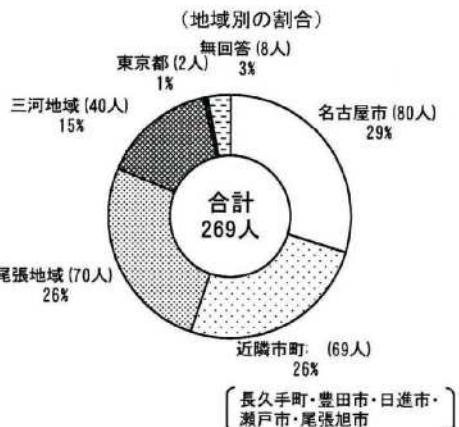


【男女別】

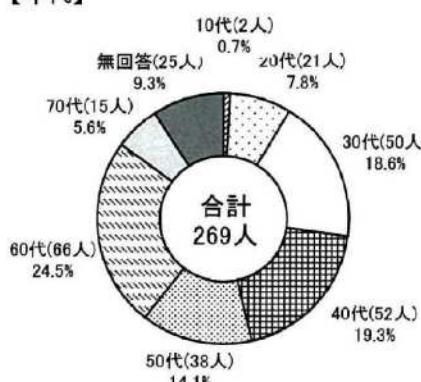


【居住地】

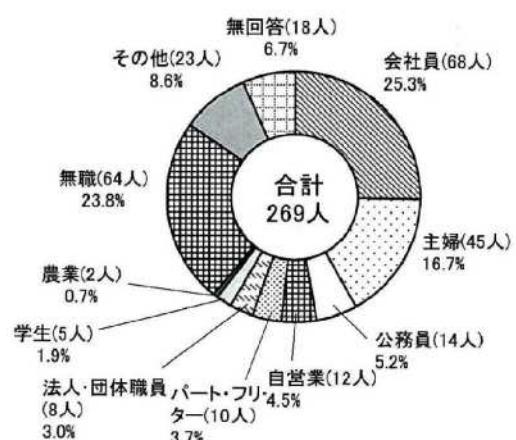
項目	人数	割合
名古屋市	80	29.7%
豊田市	19	7.1%
瀬戸市	19	7.1%
長久手町	16	5.9%
春日井市	13	4.8%
一宮市	11	4.1%
豊橋市	9	3.3%
日進市	8	3.0%
安城市	7	2.6%
尾張旭市	7	2.6%
岡崎市	6	2.2%
刈谷市	5	1.9%
碧南市	4	1.5%
知多市	4	1.5%
その他愛知県	51	19.0%
東京都	2	0.7%
無回答	8	3.0%
計	269	100%



【年代】



【職業】



## ②回答者数・意見数の内訳

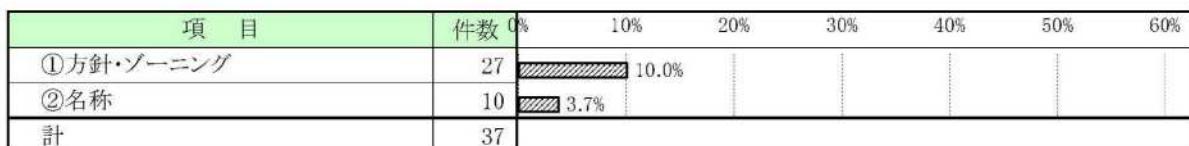
意見の項目別内訳は以下の表のとおりである。意見抽出は、重複回答によっており、各項目毎で全回答者数 269 人に対する比率を表示した。施設に関する意見が全体の約半数あり、博覧会、運営管理に関する意見が続いている。

### ■項目別回答者数

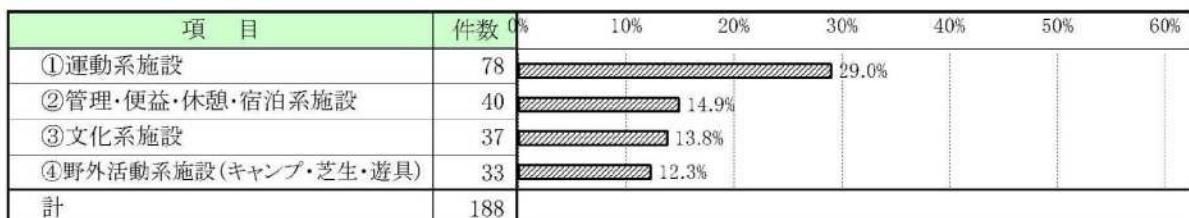


(※1、※2、※3の詳細については下記参照)

#### 1)計画全般に関する意見数内訳

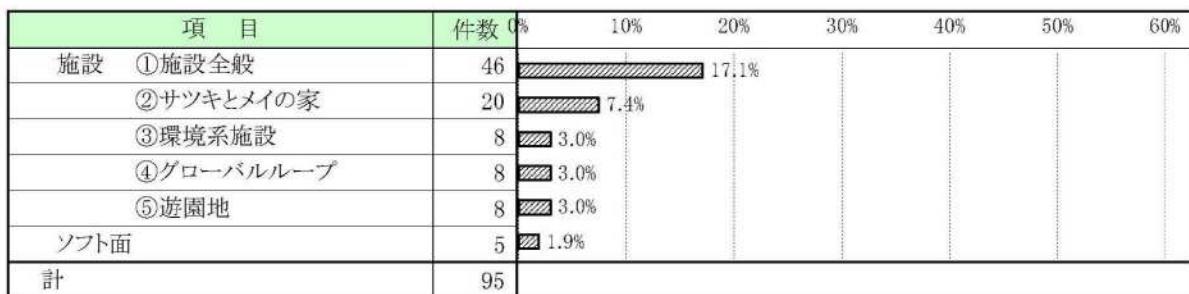


#### 5)施設に関する意見数内訳



※重複回答による集計

#### 7)博覧会の継承内訳



※重複回答による集計

### ③意見内容のまとめ

意見内容について、項目別に以下の表に整理する。

項目	細目	意見数	主な意見 同様な意見を集約し、件数を多いものから( )に計上	意見に対する対応	
1) 計画全般	方針・ゾーニング	27	・「整備・活用の方針」、「ゾーニング」とも概ね賛同(11) ・自然豊かな公園、森大切にする(5)	・中間報告で示した「整備・活用の方針」、「ゾーニング」に沿って計画を進める	
	名称	10	・新たな公園名が必要(8) ・万博に因んだ名称を(2)	・新公園名称については公募により決定	
2) 自然・環境配慮		56	・自然と共生し自然を楽しむ緑豊かな公園(34) ・自然身を保全、森づくり(15)	・もりのゾーン等で対応 ・新規整備区域での自然回復	
3) ユニバーサルデザイン		34	・子どもから高齢者まで誰にもやさしく魅力ある整備、企画(16) ・ゆるやかなスコープなどアドリブ(12) ・休憩所設置(2)・乳幼児に配慮した施設(2)	・ユニバーサル対応の施設・園路の整備 ・身障者や高齢者の方が楽しめるイベント等実施	
4) 防災		8	・自衛隊の駐屯、施設には反対(3) ・環境と共に生ずる公園を防災活動支援拠点として共用していくことは適切でない(2)・災害時広い活用(1) ・防災拠点としての活動内容をふまえた整備が必要(1) ・被災者の多い場所がよく、地理的に無理(1)	・防災時に利用する施設は樹林地を開発するのではなく、広く平坦な敷地であるスポーツ施設や駐車場を活用する ・救援隊の公園使用は災害時のみである	
5) 施設	①運動系施設	78	・サインリング(17) ・野球場(5)・プール(5) ・BMX(4)・テニスコート(4)・体育館(4)	・閉園前の利用実態や周辺整備状況等を考慮し決定 ・運動施設は複合多目的に利用できるものとする	
	②管理・便益・休憩・宿泊系施設	40	・宿泊施設(14) ・駐車場の確保、ゆったりと(5) ・雨天でも利用できる施設(3)	・宿泊施設については、閉園前の利用率が低く、運営面で困難であること、交通状況の改善を考慮し整備しない ・便益・休憩施設の充実	
	③文化系施設	37	・文化・サークル系施設(17)・環境系施設(14) ・健康づくり系施設(6)	・複合的な建築物として対応	
	④野外活動系施設 (キャンプ・芝生・遊具)	33	・キャンプ場(12)・芝生広場(6) ・幼児の遊び場(5)・ドッグラン(5)	・敷地条件、施設の合理性等を考慮し、導入施設を決定 ・みんなのひろばや子どものひろばで対応	
6) 運営・管理		69	・維持管理を安く(13) ・民間やNPO、ボランティアの運営・管理への参加(10) ・魅力あるイベントの企画(8)・入場料などを安く(4)	・コスト面を考慮した管理運営 ・県民参加による公園管理運営の推進	
7) 博覧会	博覧会の継承 (施設)	施設全般	46	・博覧会の施設・モニュメントを残す(21) ・ヒューリオン等を残す(14) (エキスポドームを残す(2)、長久手日本館(2)、瀬戸愛知県館(2)、大地の塔を残す(2)他) ・博覧会記念公園、記念施設をつくる(9)・撤去(2)	・記念性、経済性(特に仮設構造物からの改修費)、公園として有効利用などを考慮し活用施設を決定
		グローバルループ	8	・便利なので残して欲しい(7) ・強度がよすぎて残す必要はない(1)	
		サツキとメイの家	20	・長く残す。トロの森として充実(14) ・運営維持に疑問(4)・不要(2)	・博覧会の人気施設であり、県民の存置要望の高い施設であることを考慮し、暫定的に活用する施設とする
		環境系施設	8	・環境学習等、環境系施設を残す(5) ・日本庭園の活用(3)	・日本庭園、森林体感ゾーンは博覧会後も公園施設として活用
		遊園地	8	・大観覧車は里山とマッチしない、安全性に不安(3) ・遊園地の要望(2)・遊園地でヨリピーターは来ない(1) ・大観覧車はシンボルとして残す(1) ・子どもの夢の遊具として残す(1)	・公園の「整備・活用の方針」、「ゾーニング」との整合性を考慮し決定
		博覧会の継承 (ソフト面)	5	・博覧会ソフト(インターフォーラムなど)の継承・県民参加型管理運営の継続(5)	・博覧会成果を継承していくことを公園づくりの1つの方針として推進
8)その他		18	・万博感想へ感動した、大好評など(10) ・カタカナ表記が分かりにくい(3)	・博覧会の理念と成果を継承する場としてイデアのひろばを設定	